

# 第2回薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰

## 保険薬局薬剤師によるグラム染色を活用した 高齢者施設における抗菌薬適正使用の推進

瀧藤 重道

### 【活動概要】

有料老人ホームでの医師が抗菌薬を処方する際に保険薬局の薬剤師が抗菌薬の処方提案を行うことで広域経口抗菌薬の使用量を削減させています。その際に検体採取可能であればグラム染色を行い起炎菌を推定して処方提案を行っております。

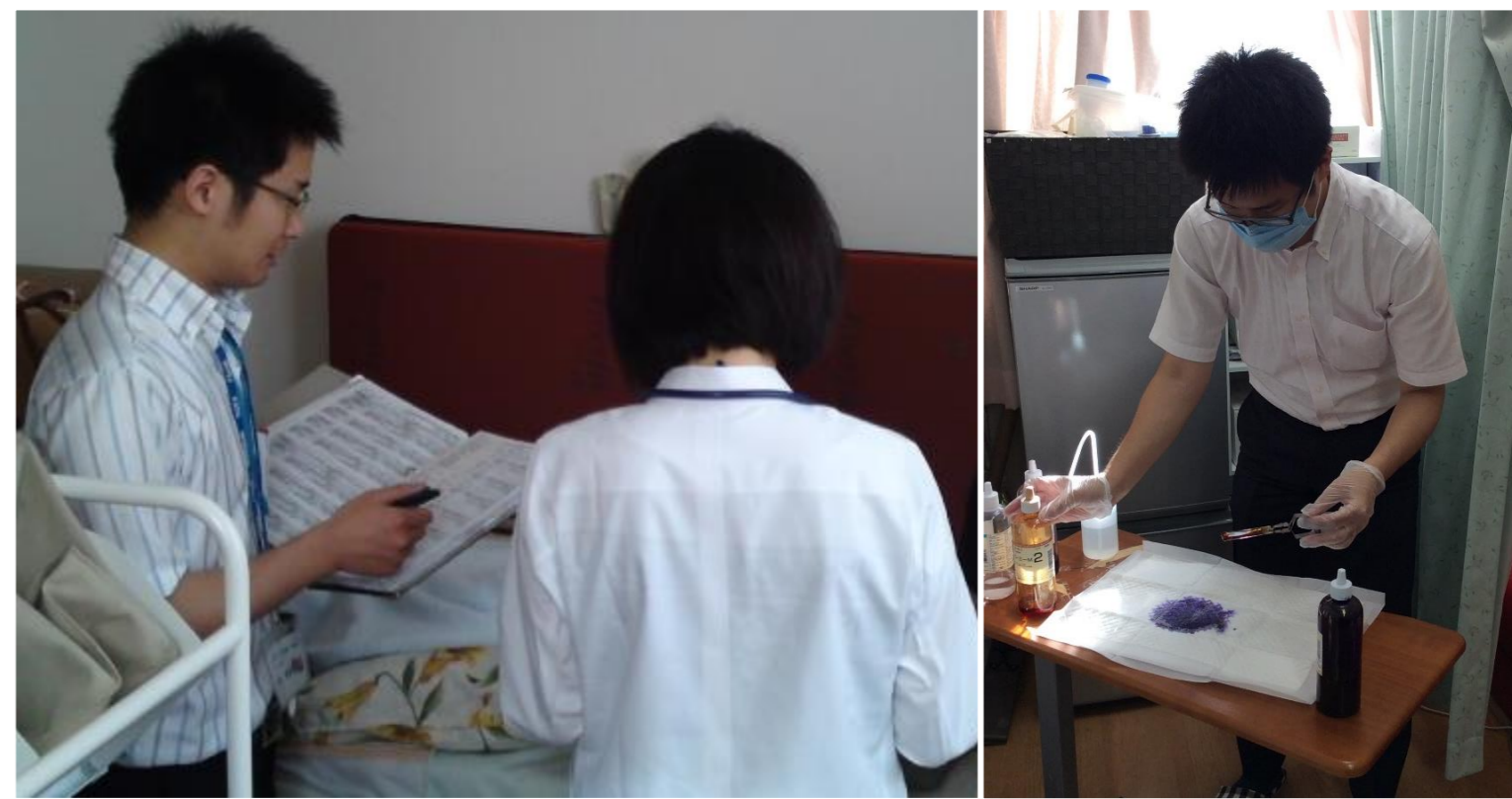
### 【活動内容】

医師との訪問診療に薬剤師が同行していますので、そこで感染症が疑われて検体が採取可能な場合はその場で薬剤師がグラム染色を行い、推定細菌に基づいて抗菌薬の処方提案を行っております。

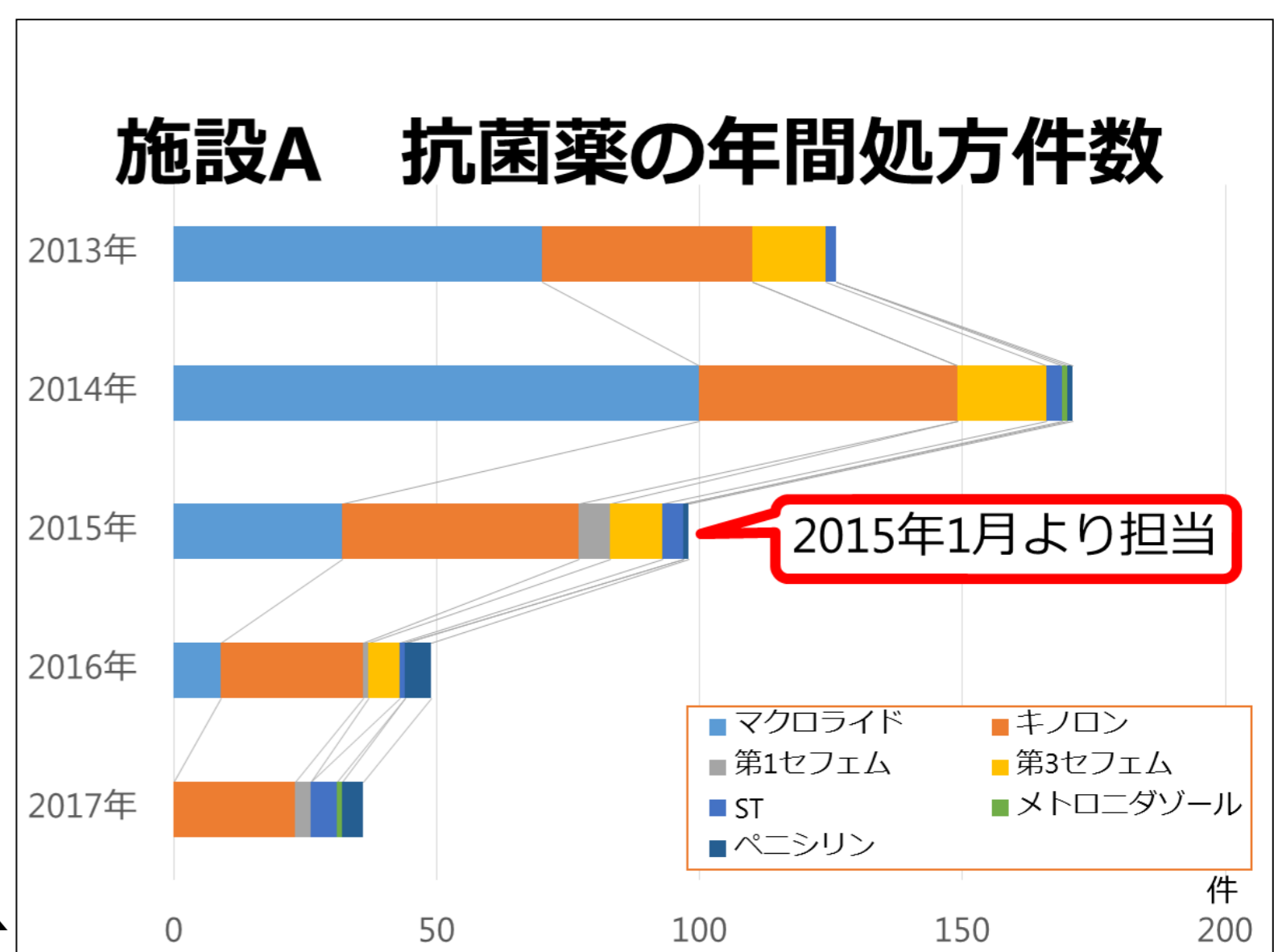
また、検体採取が困難な場合は蜂窩織炎であれば第1世代のセファロスポリン系抗菌薬であるセファレキシン、尿路感染症であれば大腸菌のレボフロキサシンへの耐性率を考慮してST合剤、風邪や無症候性細菌尿が疑われる場合であれば抗菌薬無しでの経過観察を提案しております。

その他、薬剤師のみが老人ホームに訪問した際に感染症が疑われた場合も医師の同意のもと、患者の検体採取可能時はグラム染色を行い、結果をもとに医師へ抗菌薬の処方提案を行っております。

結果としまして、キノロン以外はAMR対策アクションプランの目標値を達成することが出来ております。



訪問診療と現地でグラム染色をしている風景



経口広域抗菌薬  
の処方件数減少